図書館だより

開館時間
9：00～18：00

8月の予定

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

- 休館日
- おはなし会
- ひろたのみんなのおはなし会
- にこにこほっぺのおはなし会

砥部町立図書館
☎（962）4400

新着紹介

『マスクは踊る』　東海林さだお
『帝国の弔砲』　佐々木　譲
『血も涙もある』　山田　詠美
『草原のサーカス』　彩瀬　まる
『眠れぬ夜はケーキを焼いて』　午後
『ほたるいしマジカルランド』　寺地はるな
『それでも、陽は昇る』　真山　仁
『わんダフル・デイズ』　横関　大
『がぶのみコーヒーの日々』　浜崎　寛和
『十年後の恋』　辻　仁成

『あなたがはいというから』
谷川　直子
河出書房新社　刊

37年ぶりに再会した瞳子と亮。かつて恋人同士だった2人は、今も変わらぬ互いへの思いに気付く。だがそれぞれ妻として、作家として生きるためについた嘘が次第に暴かれていき…。還暦の恋を描く。

『絵本のようにめくる城と宮殿の物語』
石井美樹子
昭文社　刊

ロンドン塔、シヨン城、ヴェルサイユ宮殿…。愛憎や陰謀が渦巻き、数奇な伝説が生まれ、歴史を大きく転換する舞台となった城や宮殿にまつわる物語を、美しい写真とともに紹介する。

『アンブレイカブル』
柳　広司
KADOKAWA　刊

1925年、治安維持法成立。太平洋戦争の軍靴の響きが迫るなか、罪状捏造に走る官憲と信念を貫く男たちとの闘いが始まった―。小林多喜二、三木清…。法の贄となった、敗れざる者たちの矜持を描く。

役者　井上正夫

問社会教育課文化スポーツ係
☎（962）5952

井上正夫が出演した中でも異色の映画が、「狂った一頁」です。

精神病院が舞台で、患者である妻を見守る、元船員で病院の下働きの男を井上正夫が演じました。男が見る幻想の世界は非常に難解です。

1926（大正15）年公開、監督衣笠貞之助、原作川端康成。衣笠が横光利一や川端らの作家と結成した新感覚派映画連盟の第1回作品です。

オーバーラップ（前の画面が徐々に薄くなり、後の画面が重なって現れる効果）やフラッシュバック（回想シーン）といった技法を用いた実験映画で、撮影助手には、のちに特撮の神様と呼ばれた円谷英二がいました。

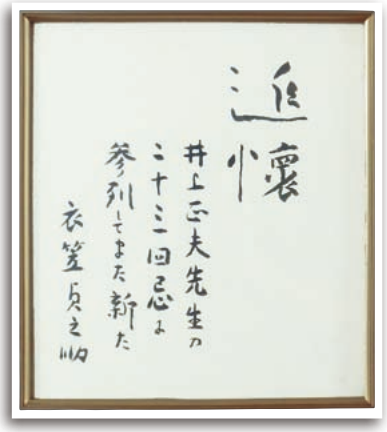
衣笠貞之助は元女形の俳優で、井上正夫の一座に招かれて出演したこともあり、旧知の間柄でした。衣笠に映画の出演を持ちかけられた時、井上は大変面白がり、予定していた公演を断って無償で出演しました。

また、井上は撮影に入ってから、スタッフと変わりなく大道具作りや小道具の飾り付けに泥だらけになりながら働きました。その方が井上も楽しそうだった、と衣笠は自伝で記しています。

映画のフィルムは撮影所のフィルム倉庫の火災で焼失したと思われていましたが、1971（昭和46）年、衣笠の自宅の蔵にあった米びつから見つかり、再編集されました。

翌年の第11回如月忌（23回忌）で「狂った一頁」が上映され、衣笠は井上との思い出を語りました。井上正夫資料室にはその時の色紙が残されています。

（学芸員　宮本直美）



色紙「追懐」（衣笠貞之助）